

部局名	消防本部	所属名	警防課	所属長名	日原 龍一郎	電話	459-7804
-----	------	-----	-----	------	--------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3361	事務事業名称	警防管理事業	短縮コード	経常	3361	臨時	3858				
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	消防法, 消防組織法, 救急救命士法, 救急業務の高度化の推進について(総務省消防庁通知), 住民に対する応急手当の普及啓発活動の実施要綱, 八千代市消防本部応急手当普及啓発活動実施規程, 道路運送車両法								
事業概要(事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
(1) 救急救命士法(平成3年4月23日法律第36号)により,平成6年度に開始する。(2) 救急救命士法,救急業務の高度化の推進(総務省消防庁)の通知により開始する。(3) 応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱(総務省消防庁)に基づき,八千代市消防本部応急手当普及啓発活動実施規程(平成5年10月15日・消本訓令乙第2号)で,市民及び市内在勤者に応急手当の知識と技術を習得される目的で開始する。(4) 応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱で,市民等を対象に救急業務の理解と認識を深めるために開始する。 (5) 各消防車両及び資機材等に係る保守・整備や事務等を統括して実施することにより,多様化する災害活動に対応する体制を整えることを目的とし開始する。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	03	安全・環境共生都市をめざして					
(1) 重症及び心肺機能停止状態の傷病者の事後検証,救急業務症例検討会及びJPTEC等の研修会を実施して,救急隊員の質の向上に反映した。応急手当普及啓発活動の推進により,救急業務において,救急隊の現場到着前に現場に居合わせた人が応急手当を行う回数が増えた。					大項目(節)	01	市民の安全					
					中項目	02	消防					
					小項目(施策)	02	消防体制の充実					
						03	救急・救助体制の充実					
					細項目	02	消防車両等の整備					
				01		救急・救助体制の整備						
実施計画の計画事業												
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計画事業期間	昭和41年4月 ~			計画事業費	千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 (誰を何を対象にしているのか)	(1) 救急救命士 (2) 消防職員 (3) 市民						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成22年度に実際に行ったこと: (1) 心肺機能停止状態の傷病者に対し救急救命処置(特定行為)の指示・指導・助言体制。(2) 救急業務事後検証,救急業務症例検討会,JPTEC研修会,AED(自動体外式除細動器)指導員資格の更新及びBLS講習を実施した。 (3) 広報紙等による一般公募で,救急隊員が応急手当講習及び普通救命講習を指導した。また,普通救命講習を受講し,救急技術を有する受講者に普通救命講習修了証を交付した。(4) 救急フェアを開催し,市民等に対し応急手当の展示・指導,救急車の展示,応急手当のパフレット等を配布する。(5) 消防車両及び資機材等の整備を実施した。 ※平成23年度に計画していること: (1) 心肺機能停止状態の傷病者に対し救急救命処置(特定行為)の指示・指導・助言体制。(2) 救急業務事後検証,救急業務症例検討会,JPTEC研修会,救急研修会。(3) 広報紙等による一般公募で,救急隊員及び女性消防団員による応急手当講習及び普通救命講習会。(4) 救急フェアの開催。(5) 消防車両及び資機材等の整備。						
意図 (何を狙っているのか)	(1) 救急救命士が行う救急救命処置(特定行為)の協定を結んでいる医療機関の医師による指示,助言の体制。 (2) 応急手当の知識と技術を習得させて,心肺機能停止状態等の応急手当が必要なときにおこなってもらう。						
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外						
区分		単位	21年度	22年度		23年度	
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	救急救命士	人員	22	24	22	24
	指標2	消防職員	人員	210	210	210	210
	指標3	市民	人員	192,570	196,000	193,274	196,400
活動指標	指標1	救急救命処置(特定行為)の回数	回数	80	80	129	135
	指標2	重症傷病者以上の救急業務事後検証	回数	286	300	350	400
	指標3	救急出動の件数	件数	7,003	7,500	7,601	7,500
成果指標	指標1	救急蘇生指標(救命率)	%	8.93	15	11	15
	指標2	普通救命講習会等の参加人員	人	673	3,000	1,325	1,500
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3361	事務事業名称	警防管理事業			所属名	警防課
	単位	21年度		22年度		23年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	21,976	17,120	16,292	16,149
		その他	千円	0	0	164	0
主な事業費の内訳		救急業務メティカルコントロール協議会負担金, 応急手当普及啓発用消耗品, 消防車両等車検整備費, 消防車両及び資機材の修理費, Nox・PM低減装置対応修理		救急業務メティカルコントロール協議会負担金, 応急手当普及啓発用消耗品, 消防車両等車検整備費, 消防車両及び資機材の修理費, Nox・PM低減装置対応修理		救急業務メティカルコントロール協議会負担金, 応急手当普及啓発用消耗品, 消防車両等車検整備費, 消防車両及び資機材の修理費, Nox・PM低減装置対応修理	
人件費(B)		千円	50,204.8	49,532	46,841.9	46,841.9	
トータルコスト(A)+(B)		千円	72,180.8	66,652	63,297.9	62,990.9	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結び付いている <input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
	②すでに所期目的を達成しているか? ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 達成していない <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
	③民営化で目的を達成できるか? ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある <input type="checkbox"/> 可能性はない <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか?	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 両方可能性はある <input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か? 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等 <input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用 <input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法	①再任用職員及び女性消防団員を活用して、普通救命講習会等の回数を増す。 ②警防管理事業から救急救助管理事業を分離することにより、事務の効率化が図られる。	類似 事務 事業 名称	1 2	実施主体 (所管部署) 実施主体 (所管部署)
	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか?(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない				

コード	3361	事務事業名称	警防管理事業			所属名	警防課																					
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> その他		平成20年度から東京女子医科大学付属八千代医療センターにおいて、救急業務メディカルコントロール体制が整えられ、救急救命士及び救急隊員の研修等の向上を図るとともに、応急手当普及啓発活動を推進し救命率の向上をはかる。 また、消防車両の整備については、災害活動に迅速に対応できるよう車両及び積載資機材等の整備を図る。 今後この事業については、第4次総合計画に合わせ施策体系を見直し、警防管理事業から救急救助管理事業に分離する。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																									
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>				経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	救急業務事後検証、救急業務症例検討会、JPTEC等の研修会等の研修会等へ救急隊員が参加できるような体制を整え、知識や技術の向上に努めるとともに応急手当普及啓発活動を推進し、救命率の向上を図る。	
		経費																										
		削減	不変	増加																								
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
(1) 応急手当講習及び普通救命講習の受講者は、年々増加しており応急手当・心肺蘇生法等の知識と技術の習得の必要性が認識された。 (2) AED（自動体外式除細動器）の取扱いや設置場所について、市民等の関心が高まっている。	

所属長コメント	普通救命講習会については、再任用職員及び女性消防団員を活用して市民への更なる普及増進を図る。また、各種研修会、講習会を通じて、更なる救急隊員の知識技術の向上に努める。	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	普通救命講習会については、回数を増やし、推進すること。また、救急救助については、事業を分割して推進すること。